

コード	402071001
記入日	H25.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	深浦 勝彦

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	林道鬼ヶ原線改良事業
----------	------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 48 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2		
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	3		
事務事業コード	4020710	事務事業名称	石油立地交付金事業費（林道）	細目コード	1076		
関連計画	新上五島振興計画	法令・条例規則等	森林法・長崎県林道事業補助金交付要綱				

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 森林所有者		(対象指標1)	246人			
(対象2) 地域住民		(対象指標2)	143人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・改良延長 L=9,000m ・舗装幅員 W=3.6(4.0)m	(平成24年度) ・改良延長 L=345m ・舗装幅員 W=3.6(4.0)m	改良延長	3,885m	43.2%	改良延長÷ 計画改良延長	平成48年度
		改良延長	345m	100%		平成24年度
		① (達成率分析)	事業計画どおりに進捗している。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・本路線は、県道日島猿浦線と若松港臨港道路から西神ノ浦・大平地区へつながる唯一の道路であり、住民にとって生活道として利用されている重要な道路でもある。幅員が狭く離合もままならないため、車両交通の安全が確保できない状況である。このような状況を改善するため道路の改良事業を実施し、安全性の向上を図るものである。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		利便性・安全性の向上	-	-	-	平成48年度
		① (達成率分析)	本路線の整備により、車両交通の安全が確保でき、利便性及び安全性の向上が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。										
	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① m	9,000	3,885	3,540	345	345	480	700	700	700	700	2,535
	②											
成果指標	①											
	②											
総事業費 C (A+B)	千円	465,000	162,810	138,877	23,933	23,933	27,670	25,765	25,765	23,700	199,290	
直接事業費 A	千円	360,000	141,810	121,377	20,433	20,433	24,170	22,265	22,265	20,200	129,290	
人件費 B	千円	105,000	21,000	17,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	70,000	
内訳	従事職員数	人	15.0	3.0	2.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	10.0
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円										
	県補助金	千円	261,526	119,226	99,496	19,730	19,730	20,110	9,500	9,500	9,500	93,690
	起債	千円	90,500	17,600	17,600			2,800	12,100	12,100	12,100	33,800
	その他	千円										
一般財源	千円	112,974	25,984	21,781	4,203	4,203	4,760	4,165	4,165	2,100	71,800	

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	林道管理者である町が行うべきである。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	改良済区間においては、車両通行の安全が図られている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	本事業は計画どおりに進んでいるため向上させる余地がない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	最小の人員で事業を推進しているためできない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	森林活動への労力及び災害防止、安全性の向上のため計画どおり事業を進めること。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。